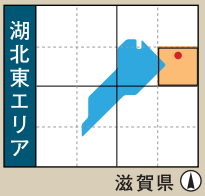
NO.100

名勝
県指定

徳源院庭園（とくげんいんていえん）

山東町清滝　平成10年6月19日指定



鎌倉時代中期に、近江源氏佐々木氏から分家した京極氏は、北近江を中心に繁栄しました。清滝寺徳源院は京極氏の菩提寺で、「ばさら大名」として名を成した京極道誉（どうよ）も静かに眠っています。今に残る庭園は、江戸時代の中期に整備されたもので、背後の山肌を巧みに借景とした、池泉鑑賞式の庭園です。

当時のできごと	
1467年 ⋮ 1477年	応仁の乱
1549年	フランシスコ・ザビエルが来日してキリスト教を伝える
1688年 ⋮ 1704年	元禄文化が花開く

徳源院庭園について

山東町の西端、清滝の集落にある参道を登ったところに、清滝寺徳源院があります。境内は約3300㎡の広さがあり、本堂、位牌殿、庫裏（くり）、三重塔、京極氏一族の墓所などがあります。

庭園は、寛文12年（1672）に、三重塔が造られたのと同じ頃の作庭と思われます。背後の荒々しい山肌を借景とした池泉鑑賞式で、大名の力を偲ばせる規模です。今は枯れて水はありませんが、舟入を備えた池の周りには、豪壮な石組を多数配し、自然の岩盤を利用した滝口と共に、この庭の見所となっています。庭の北にある紅葉は、晩秋の頃には深紅に深まり、静寂な空間に彩りをそえます。

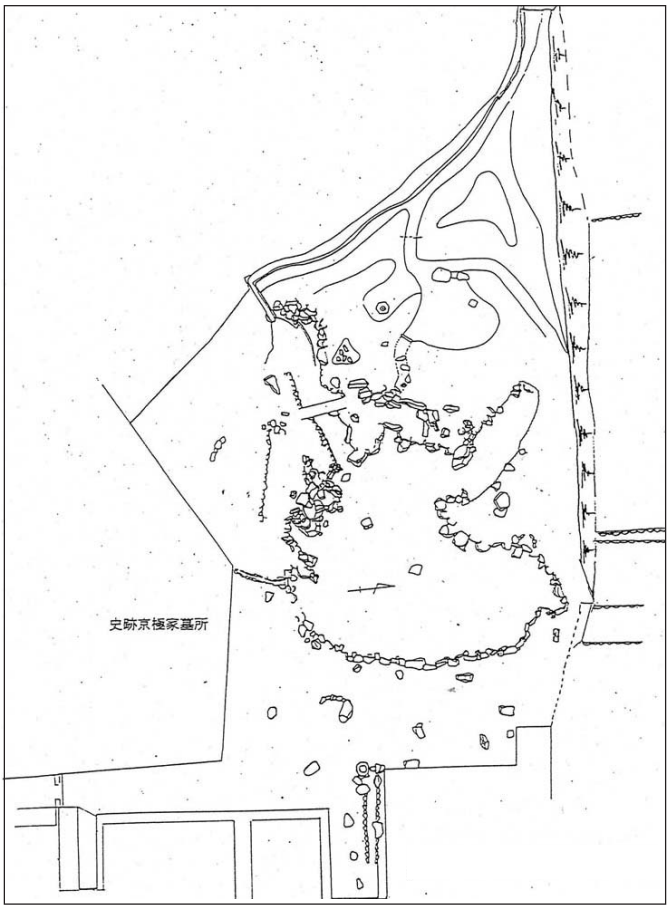

石組と滝口を見る


徳源院庭園

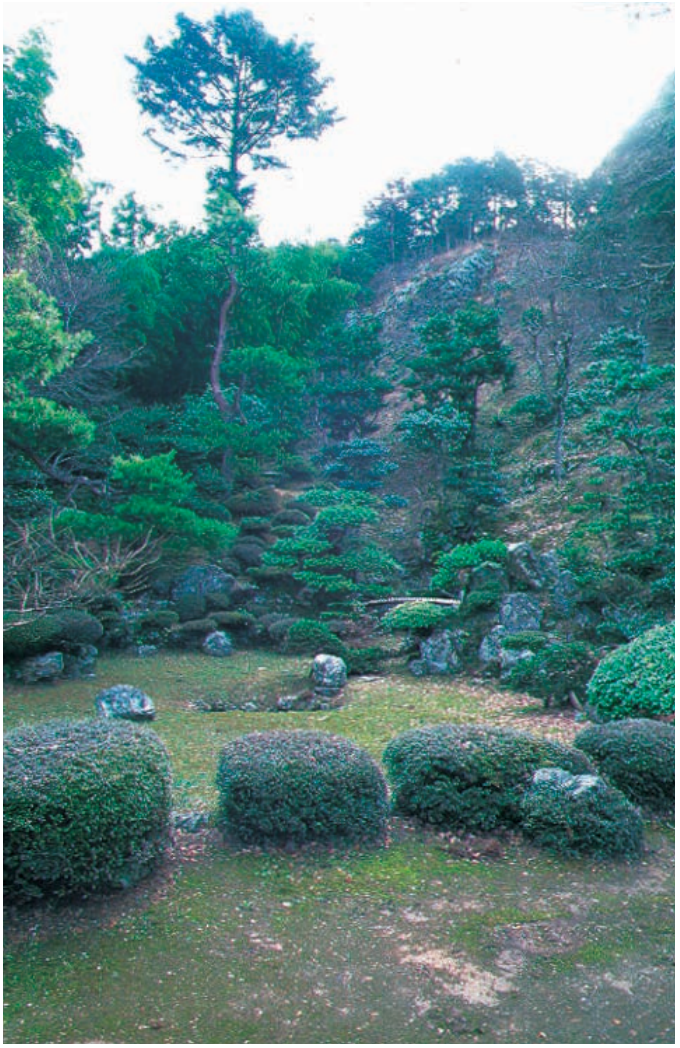
清滝寺の文化財

近江源氏佐々木信綱が、4男氏信に北近江の愛知（えち）川より北の6郡を与え、氏信が京極を名乗ったのが京極氏の始まりです。南北朝時代（1336～92）では京極道誉が活躍し、室町時代には守護大名である六角氏よりも勢力を持ちました。文明5年（1473）には、京極政経が近江一国守護に任命されます。

京極家の墓所は徳源院の山手にあり、多数の宝篋印塔（ほうきょういんとう）が並んでいます。鎌倉時代から江戸時代にわたり、各時代の特徴を備えている点で貴重で、史跡に指定されています（学習シートNo.032）。また、三重塔は、讃岐の丸亀藩主京極高豊が先祖の冥福を祈って建てたもので、県の文化財となっています。



徳源院庭園測量図


山肌が庭園の借景となっている

関連する文化財

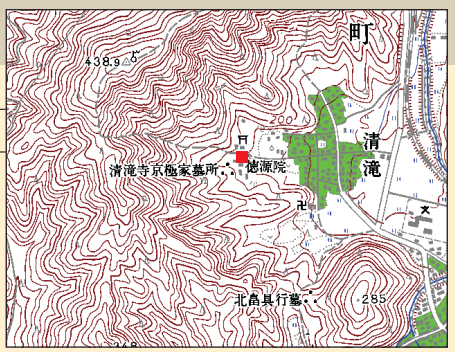
史跡京極家墓所（山東町）	学習シートNo.032
史跡京極氏城館跡（伊吹町）	学習シートNo.033
名勝青岸寺庭園（米原町）	学習シートNo.087
旧中山道柏原宿（山東町）	中山道の宿場。かつては将軍家の御茶屋御殿も置かれていた。伊吹モグサで名高い

もっと深く知りたい

山東町柏原宿歴史館　☎0749-57-8020　坂田郡山東町柏原2101

山東町教育委員会　☎0749-55-2040　坂田郡山東町長岡1206

徳源院庭園へのアクセス　JR東海道本線　柏原駅下車



【参考文献】〔滋賀の美 庭〕京都新聞社　〔滋賀県の庭園1～3〕滋賀県教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　平成16年3月